Be Original.

蓄電池連携型パワーコンディショナ

家中まるごと停電対応で安心。
将来のEV（電気自動車）導入時に、EV連携が可能。*

蓄電池連携型パワーコンディショナ

JH-55NF3 NEW 2022年4月発売予定

定格出力：**5.5kW**※1 変換効率：**97.0%**※2 **96.5%**※3 入力回路：**3回路**
希望小売価格：441,100円（税込）

JH-40NF2 NEW 2022年4月発売予定

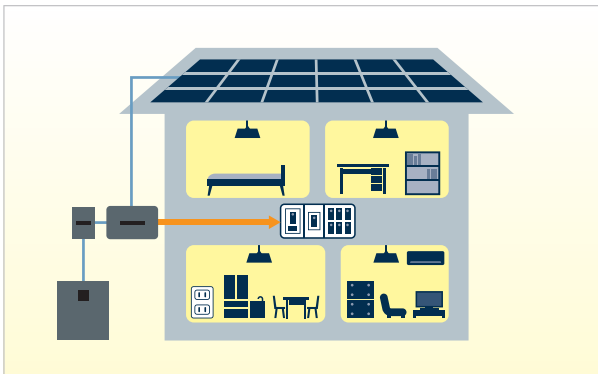
定格出力：**4.0kW**※1 変換効率：**96.0%**※1 入力回路：**2回路**
希望小売価格：364,100円（税込）

蓄電池用コンバータ

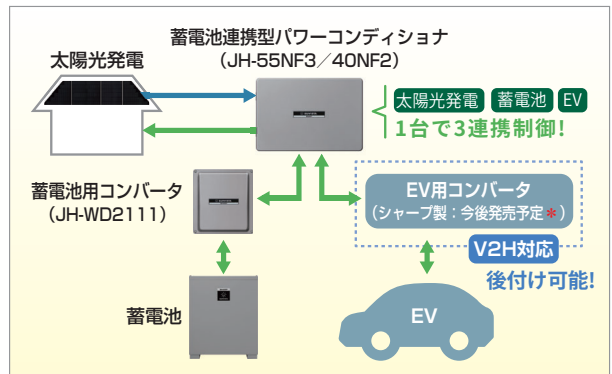
JH-WD2111 NEW 2022年4月発売予定

希望小売価格：165,000円（税込）

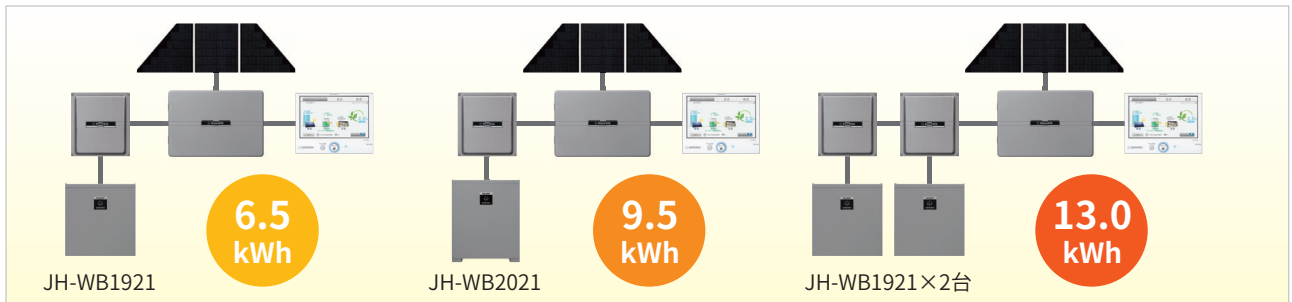
● 本PDFの掲載画像はイメージです（設置画像の場合、実際は配管等があります）。
* EVと連携するためには、今後発売予定のEV用コンバータが別途必要になります。EV用コンバータの発売時期は、2023〜2024年を想定しています。

おすすめ3ポイント

家中まるごと停電対応

停電しても分電盤に電気を供給するので、各部屋で電気が使えます。コンセントの差し替え不要なので、いざという時も安心です。エアコンなどの200V機器も使えます※4。

● 実際は電気配線によりますので、停電時に使用可能な場所については販売店とご相談ください。接続している機器、太陽光発電システムおよび蓄電池システムの使用状況や環境条件等により機器を使用できない場合があります。分電盤に繋がる機器をたくさん使うと、ためた電気を早く使い切るため、停電時は使用する機器にご注意ください。

後からEV連携（V2H対応）、蓄電池の設置／増設が可能

将来的にEV（電気自動車）や蓄電池の導入をお考えの場合、後からEV用コンバータの設置※5や蓄電池の設置／増設※6ができ、1台で太陽光発電／蓄電池／EVの3連携制御が可能です。

* EVと連携するためには、今後発売予定のEV用コンバータが別途必要になります。EV用コンバータの発売時期は、2023〜2024年を想定しています。
● V2H：Vehicle to Homeの略称。EVやPHVの大容量電池を家庭の電力として使用できる仕組みのこと。

選べる蓄電池対応 3タイプ

消費電力量や設置場所、停電時の備えなど、条件・ご要望に合わせて蓄電池をお選びいただけます。

●家中まるごと停電対応は蓄電池連携型パワーコンディショナ、EV連携は蓄電池連携型パワーコンディショナのうち、JH-55NF3／40NF2と接続時のみの機能となります。システム組み合わせはhttps://jp.sharp/sunvista/products/battery/partnumber/をご確認ください。※1 力率1.0／0.95時。 ※2 力率1.0時。 ※3 力率0.95時。 ※4 機器によっては使用できない場合があります。 ※5 EV用コンバータ導入時（シャープ製のみ連携可能）は、設置済みシステム機器のソフトウェアのバージョンアップ等が必要です。EV用コンバータは重塩害対応等、一部設置条件が設置済みのシステム機器と異なる可能性があります。EV連携を予定している電力モニタはJH-RWL8のみです。クラウド連携エネルギーコントローラー（JH-RV11）はEV連携機能が使用できません。EV用コンバータの後付け可能な期間は、JH-55NF3／40NF2設置後、おおよそ5年以内です。あくまで目安であり、詳細はEV用コンバータ発売時にアナウンスいたします。また、EV用コンバータは全てのEV／PHVと接続可能なわけではありません。接続可能な車種等は、EV用コンバータ発売時に当社ウェブサイト（https://jp.sharp/sunvista/）等で公開予定です。 ※6 後付け可能な蓄電池は、JH-WB2021、JH-WB1921です（2台目の増設可能な蓄電池は、JH-WB1921のみ）。蓄電池の増設／後付け可能な期間は、蓄電池連携型パワーコンディショナ設置後おおよそ5年以内となります。あくまで目安期間であり対象となる蓄電池システム構成機器が生産完了となった場合等、対応できない場合があります。（2022年4月時点）蓄電池の保証条件（https://jp.sharp/sunvista/battery/function/）も合わせてご覧ください。

■仕様表

		蓄電池連携型パワーコンディショナ※1	
形名		JH-55NF3	JH-40NF2
機能特長		太陽光発電/蓄電池/EV* を1台で制御	
		停電時自立出力 100V/200V 最大5.5kVA (JH-55NF3のみ)※2	
		家中まるごと停電対応※3/ココだけしっかり停電対応	
		蓄電池の後付け対応※4	
		EV用コンバータの後付け対応*	
設置場所※5		屋外・屋内兼用（重塩害対応）※6	
定格出力※7	連系※8	5.5kW	4.0kW
	蓄電池のみ	JH-WB2021　：3.0kW	
		JH-WB1921　：2.0kW	
		JH-WB1921×2：4.0kW	
	自立	5.5kVA※9	4.0kVA※9
	蓄電池のみ	JH-WB2021　：3.0kVA※9	
		JH-WB1921　：2.0kVA	
		JH-WB1921×2：4.0kVA※9	
定格出力電圧		連系運転時：AC 202V 自立運転時：単相三線 AC 202V ／ 101V×2	
入力回路数	太陽光※10	3回路	2回路
	太陽光以外の接続	蓄電池：1回路※11　／EV（電気自動車）：1回路	
最大入力電力（太陽光1系統あたり）		2.5kW	
入力動作電圧範囲（太陽光）※12		DC30 ～ 450V	
動作温度		−20℃ ～ 40℃	
パワーコンディショナ専用ブレーカー容量		40A	
出力制御対応※13		○	
外形寸法※14（幅×奥行×高さ）		505×194×347mm	
質量※14		22kg	21kg
対応電力モニタ		JH-RWL8	
対応蓄電池		JH-WB2021 ／ JH-WB1921	

●電力モニタ、蓄電池の仕様情報は当社ウェブサイト（https://jp.sharp/sunvista/）を参照ください。

蓄電池用コンバータ※15	
形名	JH-WD2111
動作温度	−20℃ ～ 40℃
設置場所	屋外・屋内兼用（重塩害対応）
外形寸法※14（幅×奥行×高さ）	320×161×347mm
質量※14	7.9kg

※1 JH-55NF3／40NF2と蓄電池を接続する場合は別途蓄電池用コンバータ（JH-WD2111）が必要です。また、自動切替盤(当社指定機種)と組み合わせることで家中まるごと停電対応が可能になります。※2 太陽光発電と組み合わせた場合。蓄電池の放電のみの場合は最大4.0kVA（JH-WB1921×2）になります。天候などにより発電量が下がると、使える電気が不安定になります。※3 実際は電気配線によりますので、停電時に使用可能な場所については販売店とご相談ください。接続している機器、太陽光発電システムおよび蓄電池システムの使用状況や環境条件等により機器を使用できない場合があります。 分電盤に繋がる機器をたくさん使うと、ためた電気を早く使い切るため、停電時は使用する機器にご注意ください。※4 後付け可能な蓄電池は、JH-WB2021、JH-WB1921 です（2台目の増設可能な蓄電池はJH-WB1921 のみ）。蓄電池の増設／後付け可能な期間は、蓄電池連携型パワーコンディショナ設置後おおよそ5年以内となります。あくまで目安期間であり対象となる蓄電池システム構成機器が生産完了となった場合等、対応できない場合があります（2022年4月時点）。※5 屋内に設置する場合、別途開閉器JH-AK02が必要です。※6 海岸から500m以内の重塩害地域でも、屋外設置できます（直接海水が飛散する地域を除く）。重塩害地域では蓄電池は屋内に設置してください。屋内に設置する場合は別途屋内設置専用金具が必要です。※7 気象条件・立地条件・設置条件・周囲温度・蓄電池残量などの諸条件により、パワーコンディショナおよび蓄電池の保護機能が働き、出力を一時的に抑制することがあります。※8 力率1.0／0.95時。※9 片相だけでは、定格一杯まで出力できません。5.5kVAの出力には自動切替盤（当社指定機種）が必要です。※10 次の太陽電池モジュールと組み合わせてご使用いただけません。（NQ-209LW、NQ-134LW、NQ-260LW、NQ-56S4W、NQ-31S4W、NQ-123LA、NQ-W2A1A、NQ-57S4B、NQ-32S4B） 次のモジュールは、モジュール接続（入力）枚数に制限があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。（NQ-190AA,、 NQ-135AA、NQ-195AA、NQ-138AA、NQ-198AC、NQ-140AC） ※11 蓄電池用コンバータ接続用。蓄電池連携型パワーコンディショナ1台につき最大2台の蓄電池用コンバータ／蓄電池が接続可能（蓄電池用コンバータ間を接続）。※12 パワーコンディショナが起動する際は、いずれかの入力端子に35V以上の入力電圧が必要です。※13 出力制御を機能させるためには、出力制御対応パワーコンディショナと対応する電力モニタを組み合わせて設置し、出力制御の設定をする必要があります。出力制御ルール適用については、各電力会社のウェブサイトでご確認ください。※14 取付け具を含みます。 ※15 蓄電池とパワーコンディショナ間の電圧調整、制御をおこなう機器です。

*EV用コンバータ導入時（シャープ製のみ連携可能）は、設置済みシステム機器のソフトウェアのバージョンアップ等が必要です。EV用コンバータは重塩害対応等、一部設置条件が設置済みのシステム機器と異なる可能性があります。EV連携を予定している電力モニタはJH-RWL8のみです。クラウド連携エネルギーコントローラー（JH-RV11）はEV連携機能が使用できません。EV用コンバータの後付け可能な期間は、JH-40NF2／40NF2設置後、おおよそ５年以内です。あくまで目安であり、詳細はEV用コンバータ発売時にアナウンスいたします。また、EV用コンバータは全てのEV／PHVと接続可能なわけではありません。接続可能な車種等は、EV用コンバータ発売時に当社ウェブサイト（https://jp.sharp/sunvista/）等で公開予定です。

■クラウド蓄電池システム　システム代表品番一覧表（当社ウェブサイト：https://jp.sharp/sunvista/products/battery/partnumber/）

システム代表品番	システム構成機器					希望小売価格※16
	蓄電池モジュール	蓄電池本体	蓄電池連携型パワーコンディショナ	蓄電池用コンバータ	電力モニタ	
JH-WBPDB660	JH-AB07×3	JH-WB2021	JH-55NF3	JH-WD2111	JH-RWL8	3,707,000円（税込）
JH-WBPDA660			JH-40NF2			3,630,000円（税込）
JH-WBPDB650	JH-AB06×2	JH-WB1921	JH-55NF3			2,849,000円（税込）
JH-WBPDA650			JH-40NF2			2,772,000円（税込）
JH-WBPDB755	JH-AB06×4	JH-WB1921×2	JH-55NF3	JH-WD2111×2		5,100,480円（税込）
JH-WBPDA755			JH-40NF2			5,023,480円（税込）

※16 RPRセンサー（JH-AS50）、蓄電池ケーブル（JH-YB102）、通信ケーブル（JH-YM301）、電力センサー（JH-AS04）、通信ケーブル（JH-YS201）を含む価格です。

●発注には、システム代表品番のシステム構成機器に該当する機器の形名が必要です。また、ご契約の契約電力に合わせてRPR(逆潮流検出用)センサー(100A用 JH-AS50／200A用 JH-AS51 それぞれオープン価格)、蓄電池ケーブルを別途購入いただく必要があります。また、ご使用には別途電力センサーや、ケーブル類が必要になる場合があります。

●停電時に備えておく容量があらかじめ設定されていますが、任意に設定変更することができます(10%ごと)。

●停電時に自動で太陽光発電や蓄電池からの電力供給に切替するには初期設定の変更が必要です。また自動切替設定時でも運転モードの切り替えのために一時的に電気が供給されない時間があります(UPS機能はありません)。

■太陽電池モジュール接続（入力）枚数表＜1回路あたりの接続枚数＞（当社ウェブサイト：https://jp.sharp/sunvista/products/pcs-connect/）

太陽電池モジュール(例)	NQ-254BM	NQ-180BM	NQ-130LM／130RM	NU-259AM
JH-55NF3／40NF2	3～12枚	4～17枚	5～24枚	3～12枚

●最低入力容量は1.10kWを推奨します。表内の枚数の範囲内でも実使用時の太陽電池出力がパワーコンディショナの最大入力電力を超過した場合、超過分は電力変換されません。最大入力電力の1.25倍程度を目安に枚数を減らすことが、電力超過によるロス軽減に有効です。全ての入力回路を使用しなければ、定格出力一杯まで出力できません。また、晴天時・気温−10℃を下回る地域では1回路の最大設置枚数が制限される場合があります。瓦型シリーズのシステムはCADによる設計でお客様に適した機種構成をご提案します。詳細は販売店にお問い合わせください。

シャープエネルギーソリューション株式会社　〒581-8585大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号　電話番号：06-6791-9733(代)

この資料の内容は、2022年4 月現在のものです。

掲載内容は予告なく変更することがあります。商品の色調は印刷のため、実物と異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
また一部の写真はCGによる修整加工をしています。